

奥州市上下水道事業の概要

第 1 章 水道事業

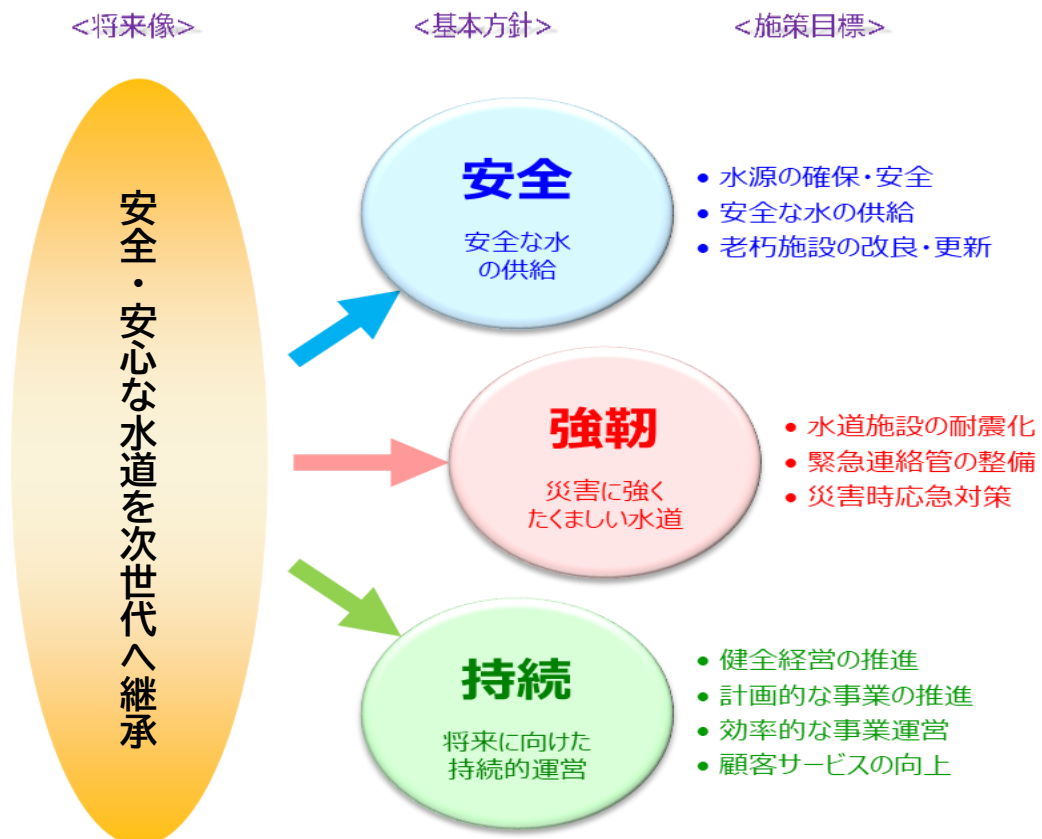
1 水道事業の概要

本市の水道事業は、平成18年2月20日の市町村合併を機にスタートしました。合併当初は、旧市町村の水道事業をそのまま引き継ぎ、各々の事業を継続していましたが、平成20年には各事業を統合し、一日最大給水量56,564m³、給水人口123,681人の計画で厚生労働大臣から「奥州市水道事業」変更認可を受け、事業を行っています。

令和7年度には、奥州市水道事業ビジョンの計画期間の後半期を迎えたことから、本ビジョンの進捗状況、今後の人口減少に伴う社会・経済情勢、自然環境など、本市水道事業を取り巻く状況を見据えた総合的な見直しを実施し、「奥州市水道事業ビジョン（改定版）」を策定しました。

また、たんこう浄水場の整備規模についても、水需要の動向を見極めながら4期に分割し43,500m³/日の整備とする計画でありましたが、3期工事の30,000m³/日の整備をもって完了することで決定しました。現在は、奥州金ヶ崎行政事務組合及び金ヶ崎町の3者による「胆江広域水道用水供給事業推進検討委員会」において、今後の広域化について検討しています。

水道事業の基本理念及び基本方針



※ 下記資料は、令和6年度末実績値

2 広域受水の状況

(1) 受水施設数 7施設 【P5 図-1 参照】

	水沢地域	江刺地域	前沢地域	胆沢地域
受水池	見分森	万松寺 江刺フロンティアパーク	日除松 小林	若柳（衣川地域へ分水） 兔口

(2) 受水計画 14,600 m³/日（最大）

(3) 令和6年度受水量 9,776 m³/日（3,568,112 m³/年）

(4) 受水区域の拡大 見分森配水池整備（令和10年度完成予定）

令和7年8月に前沢自己水源から小林受水エリアに一部切替え

3 事業概況

年度	R06	R05	対前年比
給水戸数(戸)	46,696	46,291	0.87 %
総配水量(m ³)	12,449,377	12,804,943	▲ 2.78 %
有収水量(m ³)	10,290,418	10,480,895	▲ 1.82 %
有収率(%)	82.7%	81.9%	0.80 ポイント

注) 給水戸数は年度末の戸数

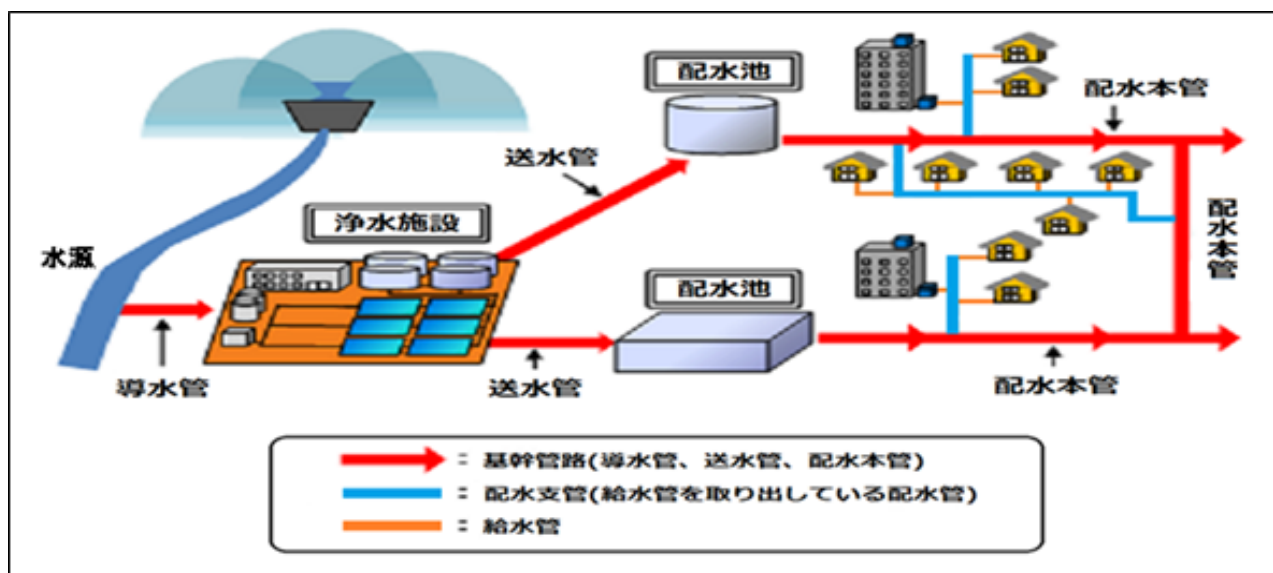
4 各施設数（取水施設、浄水場、ポンプ場、配水池等）

水沢地域	江刺地域	前沢地域	胆沢地域	衣川地域	奥州市
25 箇所	84 箇所	21 箇所	9 箇所	18 箇所	157 箇所

5 施設概要

水源（箇所）	導水管（k m）	浄水場（箇所）	送水管（k m）	配水池（箇所）	配水管（k m）
21	43	16	58	61	1,678
管路総延長					1,780 k m

< 上水道のしくみ ◆ 水ができるまで >



6 建設関連概要

事業名	事業概要
【創設事業（施設整備事業含む）】 令和7年度繰越予算 333,500千円 令和8年度当初予算 124,700千円	胆江広域水道用水供給事業からの受水に対応する施設の整備と将来の水需要に対応した施設再編事業。 【令和8年度事業】 ・見分森配水池築造工事（債務負担 R6～R8） V＝2,100m³ 1池
【管路更新事業】 令和7年度繰越予算 114,075千円 令和8年度当初予算 777,550千円	耐用年数を超過し漏水が多発する路線等を、優先順位を付けて計画的に更新する事業。 【導・送・配水管の状況】 ・管路総延長 ： 1,779.6 km ・法定耐用年数超過管路延長 ： 407.2 km ・法定耐用年数超過管路率 ： 22.9%（R5末全国平均 25.3%） ・R6更新延長 ： 12.9 km（水压適正化等含む） ・管路更新率 ： 0.72%（R5末全国平均 0.61%） ・漏水修繕等の状況 ： 配水管 115件、給水管 397件 【令和8年度事業】 ・老朽管更新事業 L=4.0 km ・管路強靱化事業 L=0.7 km ・他事業による布設替事業 L=1.5 km ・国道4号ほか配水管布設替実施設計図書作成業務 L=1.2 km 老朽管更新は R3 より江刺地域を重点に事業実施
【水道施設耐震化事業】 令和7年度繰越予算 159,990千円 令和8年度当初予算 57,010千円	耐震化基準を満たさない配水池等の施設及び災害時に重要拠点となる救急医療施設、指定避難所等までの基幹管路の耐震化を図る事業。 【施設：配水池 浄水場】 ・浄水場耐震化率：37.0%（R6末全国平均 46.7%） ・配水池耐震化率：91.5%（R6末全国平均 65.9%） 【管路：導・送・配水管】 ・基幹管路耐震化率 ： 30.7%（R6末全国平均 29.8%） ・基幹管路耐震適合率 ： 37.3%（R6末全国平均 44.6%） 【令和8年度事業】 ・管路耐震化事業（桜屋敷系・お物見系） L=0.7 km ・配水池耐震診断業務（上立沢2池）
【水压適正化事業】 令和8年度当初予算 120,100千円	適正な水压で水道水を安定的に供給するため、高水压対策として減圧弁の設置、低圧対策として管径の増や増圧ポンプの設置を行う事業。 【令和8年度事業】 ・古歌葉配水池系減圧槽流入・流出管設置工事 L=0.1 km ・工業団地配水池系送配水管布設工事 L=0.7 km ・大谷地配水池系配水管布設替実施設計図書作成業務 1式

奥州市水道事業 配水エリア

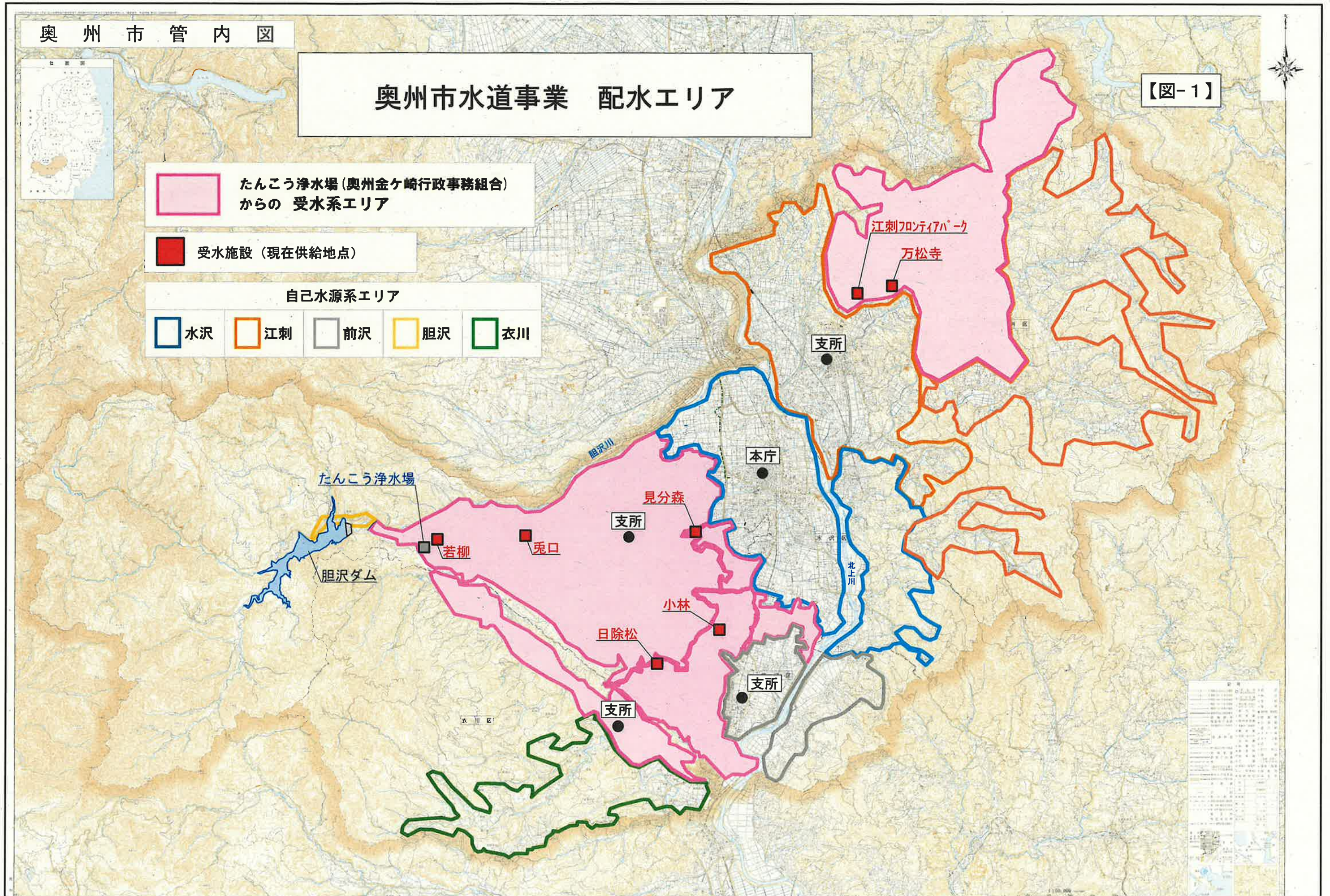
【図-1】

たんこう浄水場(奥州金ヶ崎行政事務組合)
からの 受水系エリア

受水施設(現在供給地点)

自己水源系エリア

水沢 江刺 前沢 胆沢 衣川



第2章 下水道事業

1 下水道事業の概要

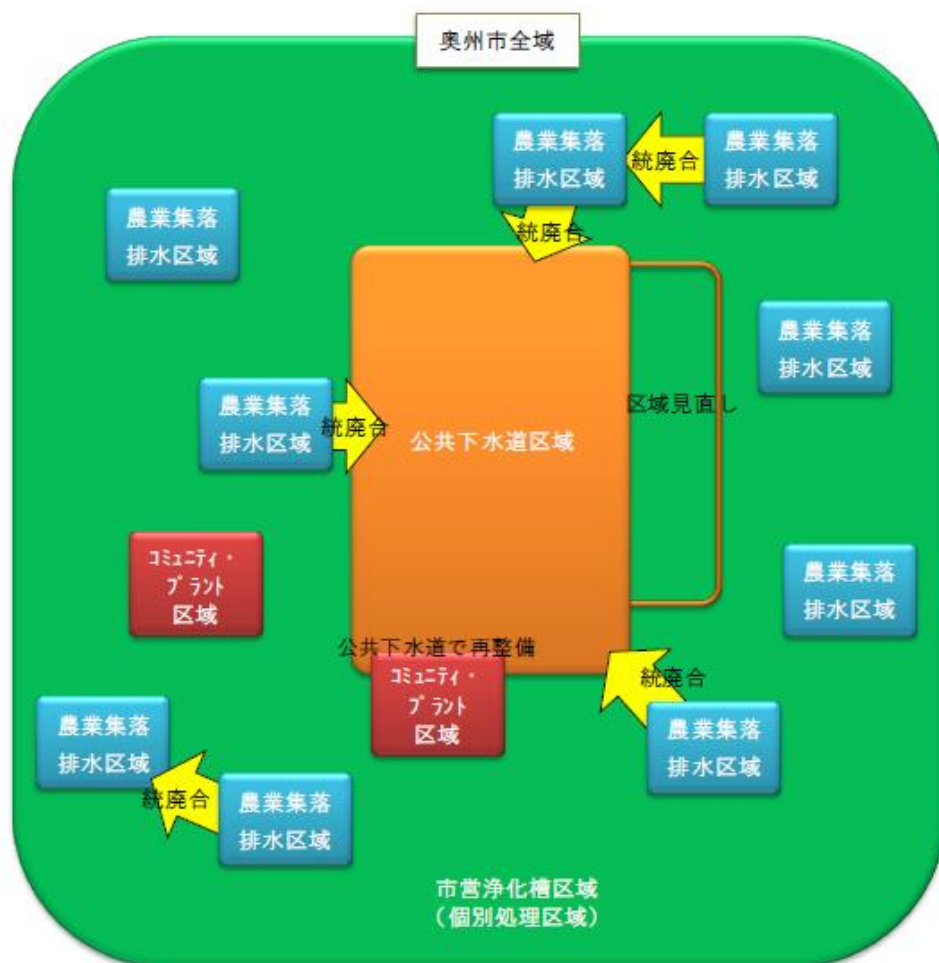
都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、併せて水路や河川の水質保全に資するため、下水道の普及促進を行っております。

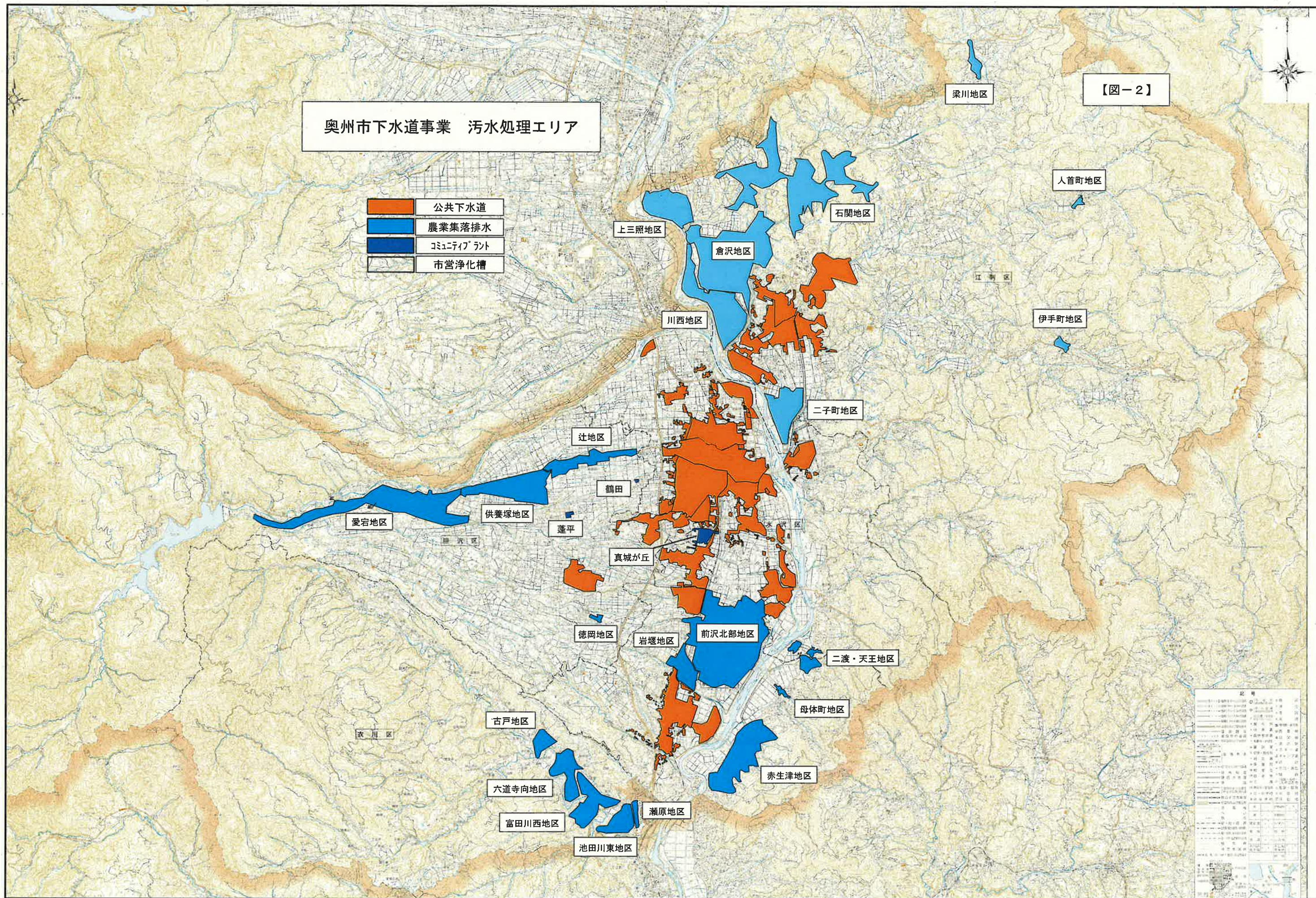
当市の汚水処理は、公共下水道事業、農業集落排水事業、コミュニティプラント事業、浄化槽事業で実施しており、市全体での令和6年度末の汚水処理人口普及率は85.0%で県内12位、（県平均85.9%、全国平均93.7%）となっております。

現在、国の要請により令和14年度末までに汚水処理人口普及率95%を目標に掲げております。公共下水道の整備予定区域については、経済性比較や地域の実情に応じて区域の見直しを行います。

また、これまで整備した施設の老朽化が進み、今後、更新費用の増大が見込まれることから、農業集落排水処理施設の統廃合を進め、30施設の処理場を12施設に縮減する取り組みを行っています。

集合・個別処理区域の整備方針の概念図





2 事業概況

	① 下水道事業（公共+特環）			② 農業集落排水事業		
年度	R6	R5	対前年比	R6	R5	対前年比
普及人口	58,789	56,869	+3.38%	12,422	14,203	-12.54%
普及率(%)	54.8	52.2	+2.6ポイント	11.6	13.0	-1.4ポイント
水洗化率(%)	82.6	81.9	+0.7ポイント	94.3	94.2	+0.1ポイント
使用者件数	24,783	23,741	+4.39%	4,412	4,959	-11.03%
有収水量(m³)	5,121,685	4,998,175	+2.47%	1,045,165	1,182,138	-11.59%

	③ 市営浄化槽事業			浄化槽（個人+市営）		
年度	R6	R5	対前年比	R6	R5	対前年比
普及人口	10,010	10,104	-0.93%	18,831	19,154	-1.69%
普及率(%)	9.4	9.3	+0.1ポイント	17.6	17.6	±0ポイント
水洗化率(%)	100.0	100.0	±0ポイント	100.0	100.0	±0ポイント
使用者件数	3,114	3,066	+1.57%			
有収水量(m³)	747,261	741,722	+0.75%			

	④ 汚水処理施設事業(コプラ)			全事業の合計（①+②+③+④）		
年度	R6	R5	対前年比	R6	R5	対前年比
普及人口	1,081	1,076	+0.5%	82,302	82,252	+0.06%
普及率(%)	1.0	1.0	±0ポイント	76.8	75.5	+1.3ポイント
水洗化率(%)	100.0	100.0	±0ポイント	66.6	65.3	+1.3ポイント
使用者件数	493	495	-0.40%	32,802	32,261	+1.68%
有収水量(m³)	88,774	87,857	+1.04%	7,002,885	7,009,892	-0.10%

	奥州市の合計		
年度	R6	R5	対前年比
行政区域内人口	107,170	108,936	-1.62%
普及人口	91,123	91,302	-0.20%
普及率(%)	85.0	83.8	+1.2ポイント
水洗化率(%)	74.8	73.6	+1.2ポイント

※普及率、水洗化率は、行政区域内人口に対する割合

3 施設概要（令和6年度末）

下水道（公共+特環）

	水沢地域	江刺地域	前沢地域	胆沢地域	衣川地域	奥州市
処理場	(流域)	(流域)	単独 1	(流域)		1
管路延長	293km	128km	68km	21km		510km
中継ポンプ	53箇所	30箇所	14箇所	8箇所		105箇所

農業集落排水

	水沢地域	江刺地域	前沢地域	胆沢地域	衣川地域	奥州市
処理場	1 箇所	7 箇所	4 箇所	5 箇所	4 箇所	21箇所
中継ポンプ	2 箇所	75箇所	56箇所	4 箇所	20箇所	157箇所
真空ステーション		1 箇所		4 箇所		5 箇所
真空弁ユニット		137箇所		800箇所		937箇所
管路延長	3 km	113km	78km	70km	34km	298km

市営浄化槽

	水沢地域	江刺地域	前沢地域	胆沢地域	衣川地域	奥州市
管理基数	675基	1,020基	183基	1,105基	187基	3,170基

汚水処理施設(コミュニティプラント)

	水沢地域	江刺地域	前沢地域	胆沢地域	衣川地域	奥州市
処理場	1 箇所			2 箇所		3 箇所
管路延長	7 km			1 km		8 km

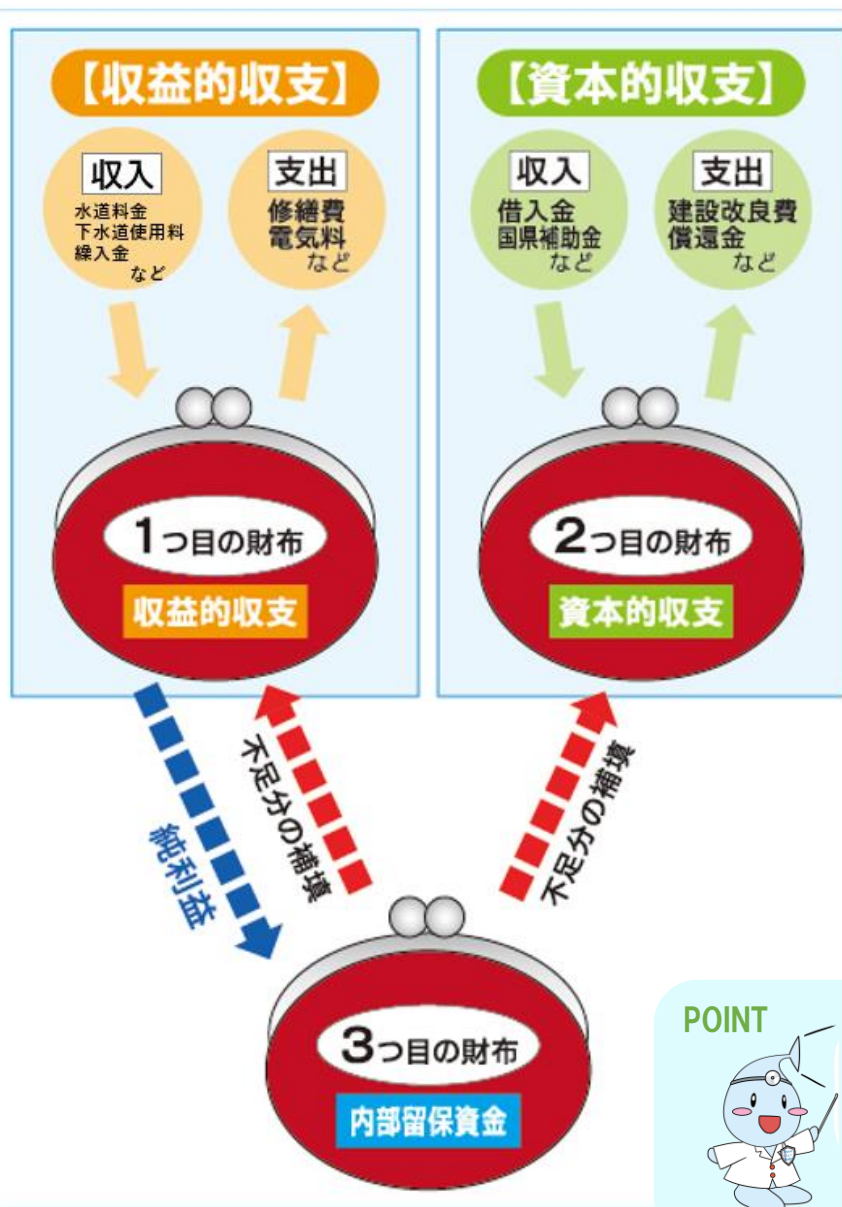
都市下水路

	水沢地域	江刺地域	前沢地域	胆沢地域	衣川地域	奥州市
路線数	1	3				4
延長	4 km	6 km				10km

4 建設関連概要

事業名	主な事業概要
【公共下水道事業】 令和7年度繰越予算 28,972千円 令和8年度当初予算 1,559,228千円	公共下水道施設の整備のために、管渠築造工事、マンホールポンプ設置工事、公共樹設置工事、長寿命化対策工事、耐震化工事を実施していく。 【令和8年度事業】 管路整備：南部第一処理分区（桜屋敷西）、南部第二処理分区（福原）、北部第二処理分区（名残・聖天）、真城が丘処理分区（真城が丘団地）ほか（全体整備延長約7.7km） 長寿命化対策：前沢下水浄化センター長寿命化対策工事、胆江処理区マンホールポンプ場長寿命化対策工事 耐震化：前沢下水浄化センター耐震診断業務
【農業集落排水事業】 令和8年度当初予算 63,954千円	新規地区の整備予定はなく、施設の統廃合（最終的に30処理施設のうち16施設を公共下水道に接続、2施設を統合）を実施していく。令和6年度末で21施設となっている。 また、機能強化事業（機械電気設備の更新事業）を実施していく。 【令和8年度事業】 機能強化事業：富田川西地区、二渡天王地区、古戸地区処理施設の電気機械設備更新
【市営浄化槽事業】 令和8年度当初予算 61,371千円	公共下水道、農業集落排水等の区域以外における生活環境の保全を目的に市営浄化槽を整備する。 【令和8年度事業】 設置予定基数 60基
【汚水処理施設事業】	新規地区の整備予定はなく、下水道事業により真城が丘団地を下水道に接続する。

第3章 水道事業会計・下水道事業会計のしくみ



水道事業会計と下水道事業会計には3つの財布があります。

1つ目の財布【収益的収支】

1年間に水を作る（汚水をきれいにする）のにいくらかかり、その水を売って（汚水を受け入れて）いくら収入があったかによって、いくらもうかったか（純利益）、いくら損したか（純損失）を知るための財布です。

2つ目の財布【資本的収支】

老朽化した上下水道施設や管路の更新、新たに施設を建設するための財布です。

3つ目の財布【内部留保資金】

この2つの財布の黒字や赤字を調整するために、3つ目の財布（内部留保資金）が必要になります。3つ目の財布には、1つ目の財布のもうけなどが入っており、1つ目と2つ目の財布に不足が生じると、ここから補てんします。

POINT



1つ目の財布からもうけが出ること、3つ目の財布にある程度蓄えがあることが、安定した水道事業・下水道事業経営の条件になります。

水道事業の収支の概要（家計簿に例えた場合）

●令和6年度決算

収入

（金額は税込）

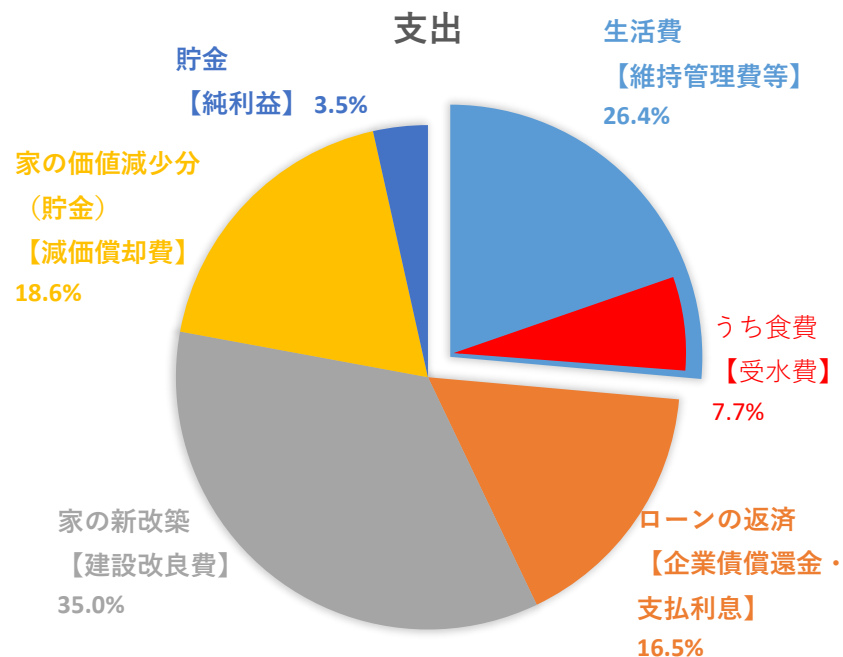
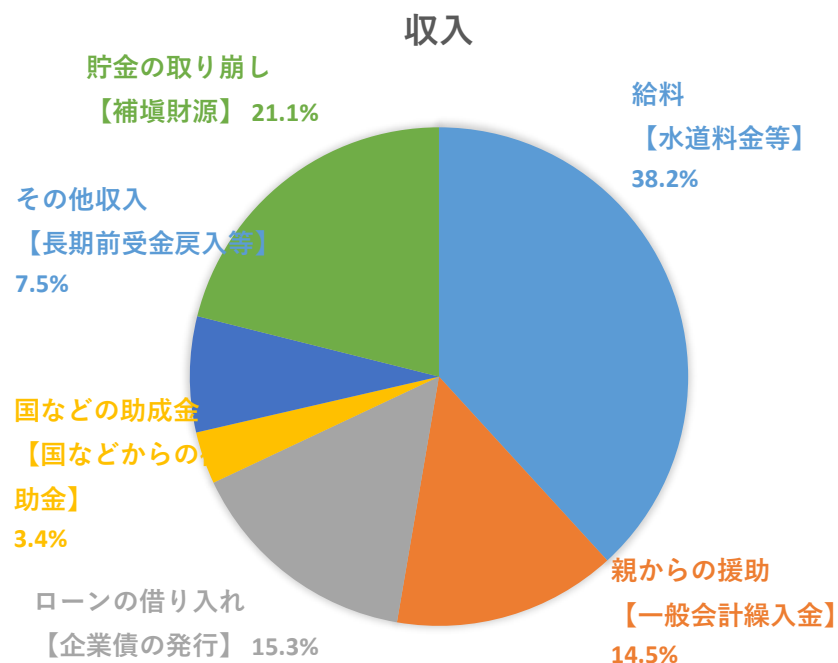
内容	金額(千円)	比率	家計簿に例えると(収入400万円/年)
水道料金等	2,691,211	38.2%	給料 152.8万円
一般会計繰入金	1,025,751	14.5%	親からの援助 58.万円
企業債の発行	1,075,600	15.3%	ローンの借り入れ 61.2万円
国などからの補助金	242,452	3.4%	国などの助成金 13.6万円
長期前受金戻入等	525,367	7.5%	その他収入 30.万円
補填財源	1,491,164	21.1%	貯金の取り崩し 84.4万円
合計	7,051,545	100.0%	400.0万円

※非現金を含めた予算総額を示したものです。

支出

（金額は税込）

内容	金額(千円)	比率	家計簿に例えると(収入400万円/年)
維持管理費等	1,859,335	26.4%	生活費 105.60万円
うち受水費（奥州金ヶ崎行政事務組合へ）	540,724	7.7%	うち食費 30.8万円
企業債償還金・支払利息	1,166,559	16.5%	ローンの返済 66.万円
建設改良費	2,469,610	35.0%	家の新改築 140.万円
減価償却費	1,308,709	18.6%	家の価値減少分(貯金) 74.4万円
純利益	247,332	3.5%	貯金 14.0万円
合計	7,051,545	100.0%	400.0万円



下水道事業の収支の概要（家計簿に例えた場合）

●令和6年度決算

収入

（金額は税込）

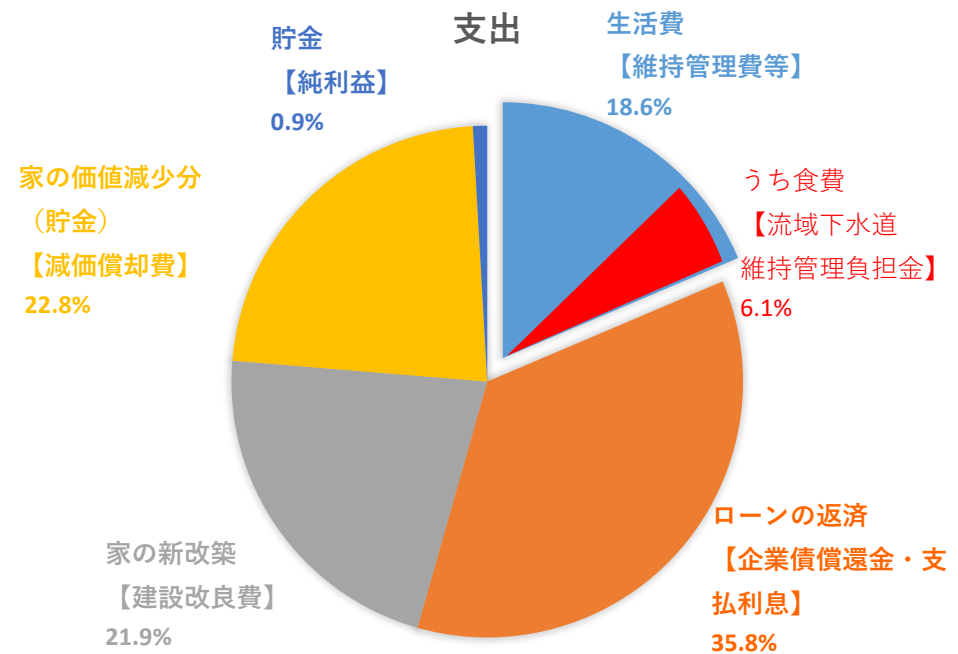
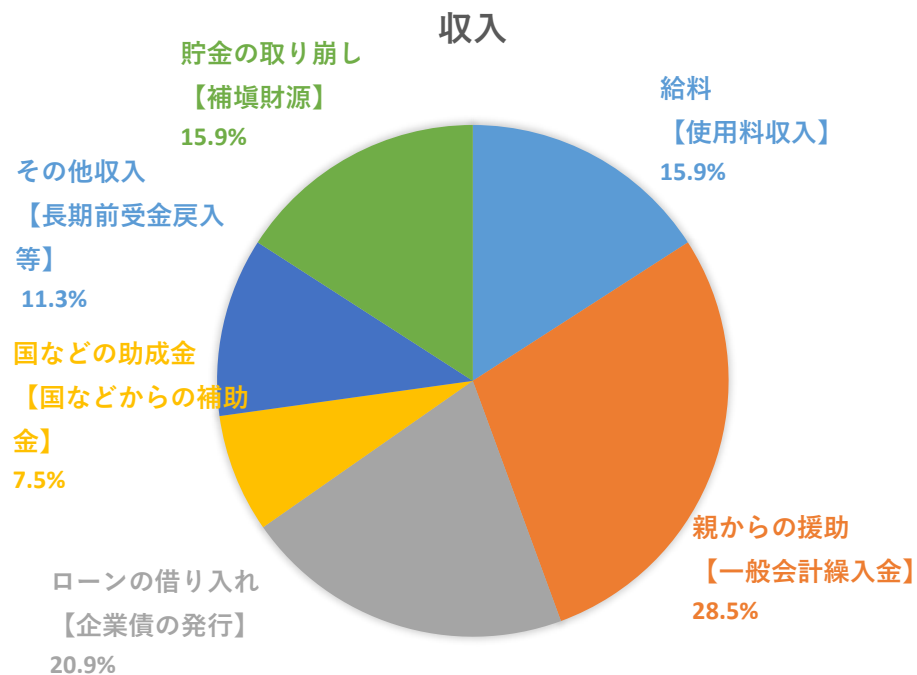
内容	金額(千円)	比率	家計簿に例えると(収入400万円/年)
使用料収入	1,368,750	15.9%	給料 63.6万円
一般会計繰入金	2,456,689	28.5%	親からの援助 114.0万円
企業債の発行	1,801,700	20.9%	ローンの借り入れ 83.6万円
国などからの補助金	650,478	7.5%	国などの助成金 30.0万円
長期前受金戻入等	973,860	11.3%	その他収入 45.2万円
補填財源	1,376,548	15.9%	貯金の取り崩し 63.6万円
合計	8,628,025	100.0%	400.0万円

支出

（金額は税込）

内容	金額(千円)	比率	家計簿に例えると(収入400万円/年)
維持管理費等	1,605,833	18.6%	生活費 74.4万円
うち流域下水道維持管理負担金	530,230	6.1%	うち食費 24.4万円
企業債償還金・支払利息	3,088,228	35.8%	ローンの返済 143.2万円
建設改良費	1,890,913	21.9%	家の新改築 87.6万円
減価償却費	1,962,687	22.8%	家の価値減少分(貯金) 91.2万円
純利益	80,364	0.9%	貯金 3.6万円
合計	8,628,025	100.0%	400.0万円

※非現金を含めた決算総額を示したものです。



令和8年度 水道料金負担軽減事業（水道料金負担軽減補給金）について

- ・ 目的

エネルギー等の物価高騰の影響を受けた生活者に、水道料金を減額することで消費の下支えを行うもの。

- ・ 対象

生活者（官公署、臨時用、市外給水区域除く） 約 47,000 件

- ・ 支援額

1 月当たり 1,100 円～24,200 円（口径ごと）

- ・ 支援対象期間

令和8年5月～令和8年9月（5 か月分） ※令和8年4月利用分から

- ・ 全体事業費

280,003 千円（@1,191.5 円×47,000 件×5 月）

- ・ その他

一般会計予算で水道料金負担軽減補給金として実施。担当課は政策企画課。

事業の周知は、上下水道部広報「おうしゅうの水」掲載（3 月発行、6 月発行）、検針票「水道使用料金等のお知らせ」の「通信欄」に減額の旨掲載。

<参考>

○令和8年度 市水道未加入世帯生活支援事業について

- ・ 目的

エネルギー等の物価高騰の影響を受けた生活者に、水道料金を減額する事業を実施するが、当該事業で支援を受けられない市水道未加入世帯に対し、水道料金減免額と同程度の支援することで消費の下支えを行うもの。

- ・ 対象

市水道未加入世帯 約 3,000 件

- ・ 支援額

1 世帯当たり 5,000 円

- ・ 全体事業費

23,586 千円（うち給付金は @5,000 円×3,000 世帯＝15,000 千円、その他は事務費等）

- ・ その他

5 月下旬から順次対象者に通知して手続き開始。担当課は政策企画課。